

# 保育実習で学生は何を学んだか ( I )

## What are the student learning outcomes through practical training at a childcare center? ( I )

保育科 尾崎 司

### はじめに

本研究は、ループリックを活用した事後学習における学びを可視化するために、実習でのエピソードを質的に分析したものである。こうしたエピソードを質的に分析するツールとして、近年、テキストマイニングが用いられている。大瀧ら (2010) は、自由記述式回答は、「自由度が高く、多様な内容の表現が可能であるためデータ分析に比してその処理方法における困難度は極めて高い。そのため、テキストマイニングの遂行によってテキストデータに繰り返し現れるパターンを見つけだすことは非常に有効な方法と考えられる」とし、「出現する言葉の種類が少なく、表現している内容が限定されているデータほどマイニングに適していると考えられる」と述べている。実習の振り返りに関する自由記述は、2週間に及ぶ実習体験の大枠を捉えるため、抽象的な記述になりやすい傾向にあるが、ループリックを活用した振り返りでは、限定され標準化された項目によって振り返ることができるため、詳細な内容のデータが得られ、テキストマイニングでの分析は適していると考えられる。そこで、本研究では、テキストマイニングを使って、学びのキーワードがどこにあるのかを俯瞰的に捉え、学びの可視化を試みたいと考えた。

### 1. 研究目的

学生がループリックを活用して自らの実習を振り返り、自己評価をおこなったエピソードをテキストマイニングの手法を用いて質的に分析し、どのような学びの特徴があるかを検討する。

### 2. 研究方法

#### (1) ループリックを活用した事後学習

授業 (表1) では、ループリック (保育実習 I) の9つの評価項目に関して3回のシートに分け、全4回実施した。各評価項目に対して学生が自己評価をおこない、なぜその評価項目に丸をつけたのかの根拠となるエピソードをシート (用紙) に記入し、さらにそれをGoogleフォームにも入力し事前課題として提出するように指示した。授業では、記入したシート (用紙) を匿名のまま教室内でランダムに配付し相互評価を3回おこなった。その後、相互評価をおこなったシートを本人へ戻し、事前に入力された事前課題を元に教員が講義した。授業内での相互評価や講義を元に、再度実習の振り返りをおこない、シート (用紙) に記入し、さらにそれをGoogleフォームに入力し事後課題として提出するように指示した。授業実践は、尾崎 (2019a) に詳しいが、本研究ではGoogleフォームを新たに活用し、データを収集した。

表1. 授業概要 (保育実習 I)

1回	4月13日	実習体験を振り返る(1)シート①	3回	4月27日	実習体験を振り返る(3)シート③
2回	4月20日	実習体験を振り返る(2)シート②	4回	5月18日	評価開示とまとめ

#### (2) 分析方法

保育実習 I の履修者116名 (保育科2年生) を対象に、テキストマイニングによる分析を実施した。テキスト

マイニングには、樋口耕一氏が開発したKH corderを使用し、自己評価を選択した根拠となるエピソードを項目ごとに分析した。項目は、A.発達の理解、B.援助の理解、C.子育て支援の理解、D.子どもへの関心、E.子どもの世界の尊重、F.生活の連続性、G.遊びの理解、H.関わる準備と実践、I.関わる魅力の発見の9項目である。

### (3) 対象者に関して

対象は、2019年度保育実習Ⅰの履修者116名であるが、今回は3枚のシート（3回の授業）を通して総合的に分析しなかったため、3枚のシート内容を全てWeb入力した学生のみを対象とした。そのため、欠席者や学生番号・氏名の未記入者、記入ミス、研究の未承諾はシート1枚のみでも対象から除外し、75名が対象となった。したがって、116名のうち、75名の事例をテキストマイニングの分析対象とした。なお、シート及びWeb入力に関しては、事前に手続きや教育・研究の使用に関して説明し、かつWeb入力の項目にも説明及び承諾欄を設け、その都度選択できるようにするなど、倫理的配慮をおこなった。今回、シート②と③に関して未承諾の学生（同一人物）1名は対象から除外した。

## 3. 結果と考察

### (1) 項目別にみた学びの特徴

KH corder の前処理をA～Iの項目ごとに実施した。その結果、例えば、【A.発達の理解】では、総抽出語数9436、異なり語数1184が抽出された。また、複合語については2回以上出現した52語を強制抽出した。強制抽出を指定した後、6回以上出現した語をリストにした（表3）。他の項目も表2の通り、同様の手続きをおこない、強制抽出を指定した後、6回以上出現した語をリストにした（表4～11）。次に、集計単位を「段落」とし、最小出現数6、描画数60の条件で共起ネットワークを作成し、作図にあたっては解釈のし易さから最小スパニングツリー描画とした（図1～9）。

抽出語リストおよび共起ネットワークの結果から、次のように解釈することができる。【A.発達の理解】では、実習生は年齢別クラスに入り、発達・年齢の違い・差を観察することで、年齢が上がるにつれ少しずつ「できること」が多くなることを学んでいる。注目している場面は、ルールのある遊び、友達とのかかわり、遊び方、子どもの言葉、貸し借り・モノの取り合い、食の場面、はさみで切ること（指先）などである。【B.援助の理解】では、実習生は、一人ひとりに合わせた声かけや伝え方、そして保育者が大切にしている意図を学んでいる。子どもが自分で気づき、自分で考えて動くことが援助の学びとして上位にあがっている。注目している場面は、片付け、絵本の読み聞かせ、モノの取り合い、トラブルなどで、特にトラブルでは、お互いの話を聞き、思いを代弁し、納得するプロセスを学んでいる。実習生が子どもに自分たちで解決できるように伝えるという実践が学びとして大きい。【C.子育て支援の理解】では、実習生は、保護者と保育者との関係から学んでいる。園での様子を伝えることが学びの上位にあがっており、そのツールとしての連絡帳やホワイトボードなどに着目している。伝えること以外には、園の子育て支援の取り組みを聞くことや、実際に子育て支援の場への参加が上位にあがっている。日々のコミュニケーションや信頼関係を築くことが、子育て支援につながるということを「改めて」学び、保護者が悩みを持つことを意識する機会となっている。【D.子どもへの関心】で最も重要な語は、「見る」（観察）である。実習生は、「時間」や「その後」という語に示されるように時間の経過とともに観察し、入ったクラスでの個別の事例を取り上げている。また、この観察を通して感じるものが保育の魅力であると感じている。上位にあがっている「言う」は、元のデータを見てみると子どもが実習生に話しかけてくるという意味で使用されることが多く、このことから子どもが関わりを持ちたいということと子どもへの関心は、関連があるのではないかと推測される。【E.子どもの世界の尊重】では、子どもの遊びの世界と一緒に感じ、楽しむという個別の事例が多くあげられている。実習生は子どもの世界に入り込むプロセスを通じて、学んでいる。プロセスを表す語としては、「最初」、「見守る」、「見立て」、「展開」があげられる。【F.生活の連

【G.遊びの理解】では、それぞれ個別の事例が多くあげられているが、実習生と一緒に参加し楽しいと感じるなかで、その遊びの魅力や楽しさを理解し学んでいる。出現回数は7回とそれほど多くないが、「本気」という語が気持ちを引き出す上で関係していると推測される。【H.関わる準備と実践】では、「部分実習」、特に「絵本」の読み聞かせと「手遊び」が活動内容としてあげられている。ここでは、「年齢」や「子どもの様子」を「見て」、「選ぶ」ことが準備となっており、「毎日」の「反省」が実施されている。「難しい」という語は、「関わりが難しい子」への対応と活動の「難易度」の2つを指しており、重要なポイントを表している。独立したカテゴリーとして、自己紹介（好きなもの・名札づくり）があげられており、コミュニケーションによる関係づくりも準備と考えられている。【I.関わる魅力の発見】では、声かけや工夫を「少し」することにより、子どもと「気持ち」が通じ合えた経験ができ、「嬉しい」という語があげられている。「目」という語は、「子どもと目が合うこと」と、「子どもの目がキラキラしている」の2つを指しているが、いずれも、子どもの「気持ち」の受け止めと関連しており、それが「嬉しさ」につながっていると推測できる。

表2. 前処理の諸設定

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
総抽出数	9436	10014	8116	9790	9412	8151	10169	8665	10587
異なり数	1184	1155	998	1322	1246	1171	1170	999	1264
強制抽出(2回以上)	52	36	46	40	46	40	51	30	49
最小出現数/描画数	6/60	6/60	6/60	6/60	6/60	6/60	6/60	6/60	6/60

## (2) 自己評価との関連でみた学びの特徴

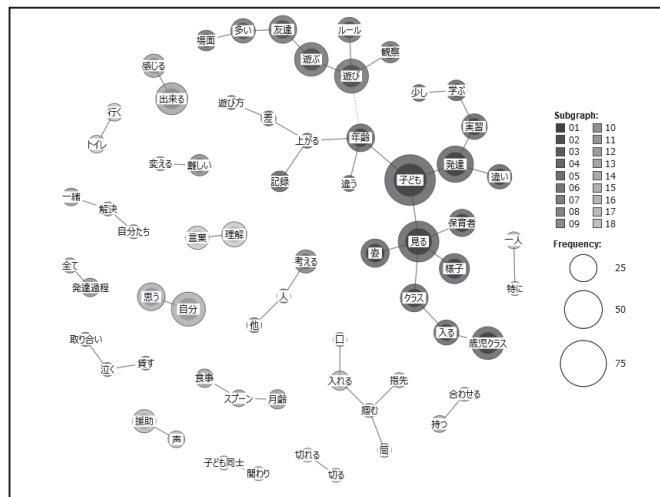
KH corder の対応分析機能を使い、外部変数によって使われる抽出語がどのように違うのかを分析した。対応分析は質的データを分析する多変量解析法で、クロス集計によって行の要素と列の要素の相関関係が最大になるように数量化し、視覚化することができる。ここでは外部変数である自己評価（すばらしい：1、がんばった：2、次はクリアだね：3）と、抽出語との関連を図10～18に示した。ちなみに、各項目の自己評価は表12の通りであり、その割合は図にある四角の布置に対応している。

自己評価のうち、特に「がんばった」と「すばらしい」の間にどのような違いがあるかに着目し、図10～18の結果を解釈してみると、次のようなことが考察できる。【A.発達の理解】では、「すばらしい」の選択者は、取合いや泣いている場面、片付けの場面などで、子どもが他児の気持ちや背景を考えたり、子どもが見通しを持つことを深く考察する回答が多かった。【B.援助の理解】では、「すばらしい」の選択者は、トラブルや取合い（持つ）、片付けなどの場面で保育者の姿・言葉・援助・関わりから学び、学ぶだけでなく、意識できた・すぐに実践したなど行動につながる回答が多かった。また、自分たちで解決できるように伝えるという実践をしていた。【C.子育て支援の理解】では、「すばらしい」の選択者は、保護者が保育室に入りやすい環境や悩みをポロっと言える環境として保育園を捉えており、保育園での楽しい出来事を家庭で共有することや家庭での過ごし方を園でも情報共有すること、そして保護者同士でも意見を共有することなど共有できる場としての意義や必要性を考察している。【D.子どもへの関心】では、「すばらしい」の選択者は、ずっとプロセス（次）を見て感じたことや、子どもの姿への感動を取り上げた事例が多い。【E.子どもの世界の尊重】では、「すばらしい」の選択者は、科学的な遊びに没頭する姿や、子どもたちが考える過程に寄り添い、一緒に「どうなるのかな」と楽しさに共感して関わる回答が多い。

また、ままごとの世界を一緒に楽しみ、ただ寄り添い見守るだけでも子どもたちは満足する姿を見て、見守ることの大切さを学んでいる。【F.生活の連続性】では、「すばらしい」の選択者は、オムツやトイレトレーニングの事例、作ったお金で売り買いをするお店屋さんごっこの事例などを取り上げ、日常生活とごっこ遊びをつなげて考察する回答が多い。【G.遊びの理解】では、子どもと一緒にあまり遊べなかった実習生が「がんばった」を選択している。【H.関わる準備と実践】では、「すばらしい」の選択者は、発達に合わせて絵本や教材を選ぶ事例や、名札・絵本・手遊びなど毎日違うことをして子どもと関わった事例を多く取り上げており、子どもが自分でできるように援助できたという回答している。一方で、「がんばった」の選択者は、練習をして準備にのぞんでいるが、保育に活かせなかったり、子どもの気持ちを考えて間を工夫できなかったり、子どもの言葉を繰り返したり共感するような声かけができなかったという回答が多かった。また、理解できるようにルールを説明することや、子どもの様子に合わせた関わりに対して難しさを感じている。【I.関わる魅力の発見】では、「すばらしい」の選択者は、関係性が築けたという達成感を感じている。例えば、目が合うこと（だんだん合わせてくれるようになった）や、実習生を先生と呼び別れを惜しむ姿、遊びに誘われること、実習生の言葉掛けを聞いて子ども自らが動いてくれる姿、あるいは言葉がきっかけとなり子どもたちで解決できた姿など、その魅力を実感できる経験をしている。

▼表3. 頻出語（発達の理解）

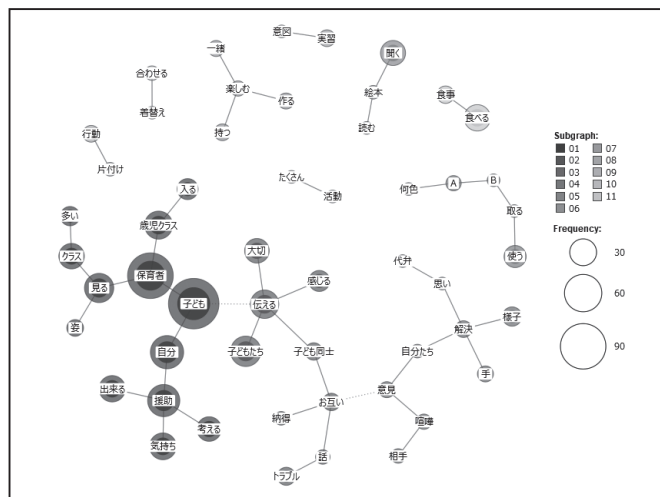
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
子ども	91	記録	14	手	7
見る	58	言う	14	上がる	7
発達	46	時間	14	食べる	7
自分	40	場面	14	全て	7
遊び	40	気持ち	13	他	7
遊ぶ	39	月齢	12	大人	7
歳児クラス	37	入れる	12	解決	6
出来る	35	行う	11	楽しい	6
子	33	食事	11	関わり	6
様子	31	大きい	11	泣く	6
姿	27	発達過程	11	強い	6
クラス	26	トイレ	10	教える	6
思う	26	一緒	10	口	6
年齢	26	行く	10	合わせる	6
友達	26	伝える	10	子ども同士	6
保育者	25	スプーン	9	思い	6
歳	23	一人	9	自分たち	6
実習	22	持つ	9	取り合い	6
ルール	21	少し	9	取る	6
入る	21	声	9	出る	6
理解	21	増える	9	人	6
違い	20	分かる	9	切る	6
多い	20	應ぐ	9	切れる	6
援助	18	違う	8	貸す	6
感じる	18	楽しむ	8	触ぐ	6
言葉	18	行動	8	掴む	6
考える	18	作る	8	筒	6
使う	18	子ども達	8	特に	6
観察	15	先生	8	変える	6
子どもたち	15	片付ける	8	遊び方	6
難しい	15	差	7	様々	6
学ぶ	14	指先	7		



▲図1. 「発達の理解」の共起ネットワーク

▼表4. 頻出語（援助の理解）

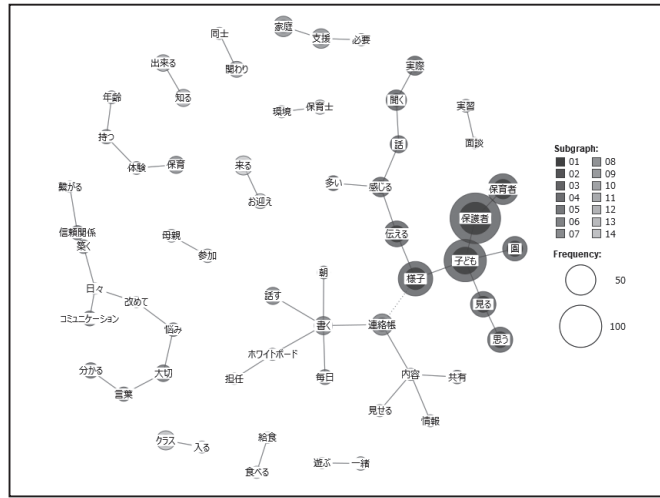
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
子ども	112	お互い	12	相手	8
保育者	91	意識	12	他	8
自分	47	関わる	12	友達	8
援助	44	子ども同士	12	話	8
子どもたち	39	場面	12	絵本	7
見る	36	食事	12	決める	7
子	34	年齢	12	自分たち	7
思う	34	解決	11	促す	7
伝える	34	行動	11	納得	7
歳児クラス	33	歳	11	片付け	7
気持ち	30	姿	11	撮める	7
出来る	29	持つ	11	良い	7
食べる	29	時間	11	話す	7
クラス	27	次	11	B	6
声	27	実習	11	たくさん	6
聞く	26	意見	10	意図	6
考える	25	一緒	10	一人一人	6
大切	25	関わり	10	何色	6
言葉	23	座る	10	楽しい	6
言う	21	作る	10	活動	6
使う	20	手	10	月齢	6
先生	19	声掛け	10	思い	6
遊び	18	A	9	実践	6
感じる	18	楽しむ	9	取る	6
声かけ	18	頑張る	9	声かけ	6
入る	18	頑張る	9	対応	6
行う	17	喧嘩	9	代弁	6
遊ぶ	17	見守る	9	担任	6
学ぶ	16	知る	9	着替え	6
少し	15	必要	9	読む	6
多い	15	保育	9	分かる	6
様子	15	甘える	8	保育室	6
子ども達	14	教える	8	落ち着く	6
トラブル	13	合わせる	8	理由	6
理解	13	自ら	8		



▲図2. 「援助の理解」の共起ネットワーク

▼表5. 頻出語 (子育て支援の理解)

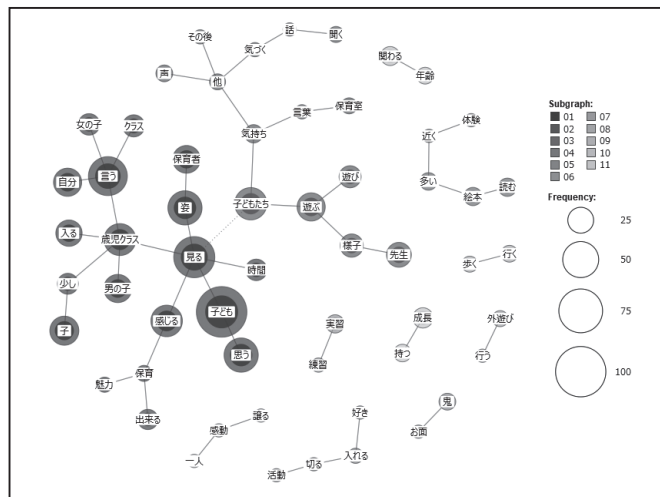
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
保護者	146	相談	14	一日	7
子ども	101	大切	14	環境	7
様子	66	会話	13	関わる	7
保育者	52	関わり	13	機会	7
伝える	36	子	13	気	7
見る	35	歳児クラス	12	気持ち	7
思う	34	分かる	12	見せる	7
園	32	お迎え	11	仕事	7
行う	24	コミュニケーション	11	子ども達	7
連絡帳	24	安心	11	作る	7
家庭	22	先生	11	情報	7
時間	22	多い	11	食べる	7
聞く	22	毎日	11	親子	7
保育園	21	遊び	11	前	7
感じる	20	活動	10	送迎時	7
支援	20	言葉	10	同士	7
クラス	19	持つ	10	内容	7
実際	19	信頼関係	10	入る	7
来る	19	保育士	10	必要	7
子育て支援	18	お父さん	9	延長保育	6
子育て	17	一緒	9	改めて	6
書く	17	共有	9	観察	6
理解	17	参加	9	給食	6
学ぶ	15	楽しむ	9	繋がる	6
子どもたち	15	悩み	9	好き	6
親	15	行なう	8	成長	6
知る	15	実習	8	生活	6
保育	15	体験	8	担任	6
話	15	朝	8	日々	6
話す	15	年齢	8	保育室	6
姿	14	母親	8	面談	6
出来る	14	ホワイトボード	7	遊ぶ	6



▲図3. 「子育て支援の理解」の共起ネットワーク

▼表6. 頻出語 (子どもへの関心)

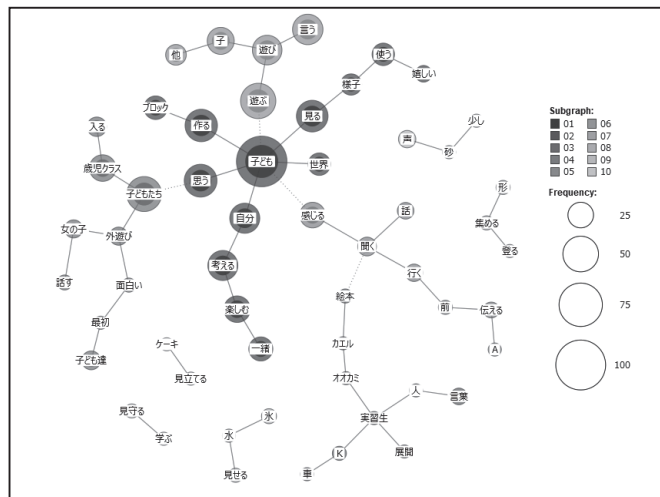
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
子ども	101	気持ち	12	考える	7
見る	66	実習	12	座る	7
言う	59	読む	12	前	7
姿	45	使う	11	練習	7
思う	45	子ども達	11	お面	6
子どもたち	40	持つ	11	たくさん	6
歳児クラス	39	多い	11	一人	6
感じる	38	水	11	援助	6
子	32	来る	11	活動	6
自分	30	鬼	10	感動	6
男の子	30	教える	10	近く	6
遊ぶ	30	行く	10	見守る	6
保育者	29	女児	10	好き	6
入る	26	声	10	行う	6
A	23	年齢	10	次	6
先生	23	ボール	9	譲る	6
作る	20	外遊び	9	切る	6
様子	20	見せる	9	体験	6
クラス	18	出る	9	担任	6
一緒	18	他	9	着替え	6
遊び	18	聞く	9	欲しい	6
時間	17	保育	9	話	6
女の子	17	保育室	9		
少し	16	歩く	9		
出来る	15	目	9		
成長	15	歳	8		
伝える	15	入れる	8		
嬉しい	14	魅力	8		
楽しい	13	友達	8		
関わる	13	その後	7		
食べる	13	気づく	7		
絵本	12	言葉	7		



▲図4. 「子どもへの関心」の共起ネットワーク

▼表7. 頻出語 (子どもの世界の尊重)

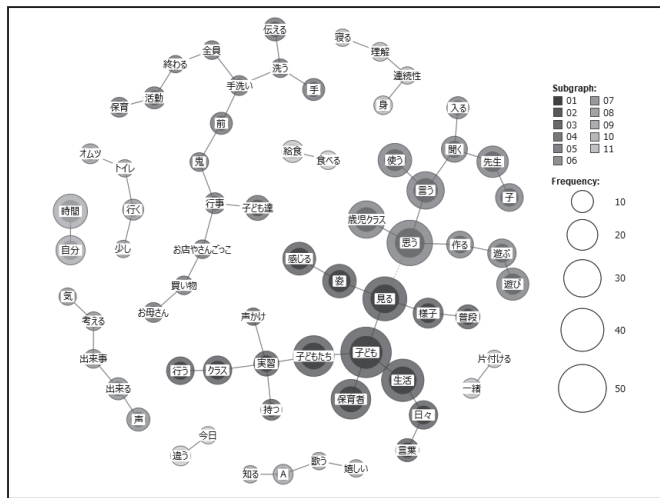
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
子ども	103	行く	11	集める	7
遊ぶ	49	持つ	11	出す	7
子どもたち	48	声	11	前	7
思う	41	男の子	11	多い	7
作る	41	嬉しい	10	面白い	7
見る	39	言葉	10	料理	7
言う	36	時間	10	A	6
考える	35	実習	10	おまごこと	6
自分	35	話	10	オオカミ	6
遊び	34	食べる	9	カエル	6
子	28	伝える	9	ケーキ	6
楽しむ	27	B	8	ボール	6
歳児クラス	27	ゼリー	8	学ぶ	6
感じる	25	違う	8	見立てる	6
一緒	22	気持ち	8	行う	6
ブロック	21	書く	8	砂	6
楽しい	19	人形	8	最初	6
使う	19	大切	8	参加	6
世界	19	水	8	始める	6
様子	17	分かる	8	次	6
他	16	友達	8	実習生	6
姿	15	話す	8	車	6
保育者	15	K	7	出る	6
先生	14	園庭	7	少し	6
入る	14	絵本	7	人	6
子ども達	13	鬼	7	水	6
出来る	13	興味	7	展開	6
聞く	13	形	7	登る	6
外遊び	12	見せる	7	様々	6
女の子	12	見守る	7		
色	12	歳	7		



▲図5. 「子どもの世界の尊重」の共起ネットワーク

▼表8. 頻出語 (生活の連続性)

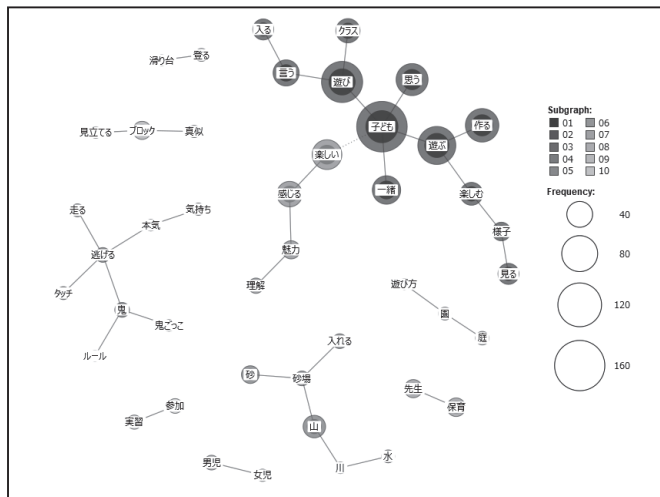
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
子ども	56	学ぶ	10	買い物	7
思う	45	活動	10	理解	7
見る	42	給食	10	C	6
生活	39	手	10	その後	6
子どもたち	36	出来る	10	トイレ	6
保育者	34	前	10	歌う	6
言う	30	入る	10	嬉しい	6
歳児クラス	30	行く	9	気	6
時間	25	行事	9	今日	6
使う	24	持つ	9	自分たち	6
姿	24	A	8	実習生	6
感じる	23	お母さん	8	終わる	6
遊び	22	オムツ	8	女の子	6
先生	21	違う	8	少し	6
様子	19	一緒	8	寝る	6
自分	18	園	8	真似	6
クラス	17	手洗い	8	声かけ	6
日々	17	食器	8	大切	6
遊ぶ	17	多い	8	知る	6
行う	16	保育	8	片付ける	6
子	16	お店やさん	7	流れ	6
作る	15	楽しむ	7	連続性	6
聞く	14	鬼	7		
子ども達	13	経験	7		
実習	13	考える	7		
行動	12	出来事	7		
音読	12	食べる	7		
言葉	11	身	7		
声	11	洗う	7		
伝える	11	全員	7		
練習	11	年齢	7		



▲図6. 「生活の連続性」の共起ネットワーク

▼表9. 頻出語 (遊びの理解)

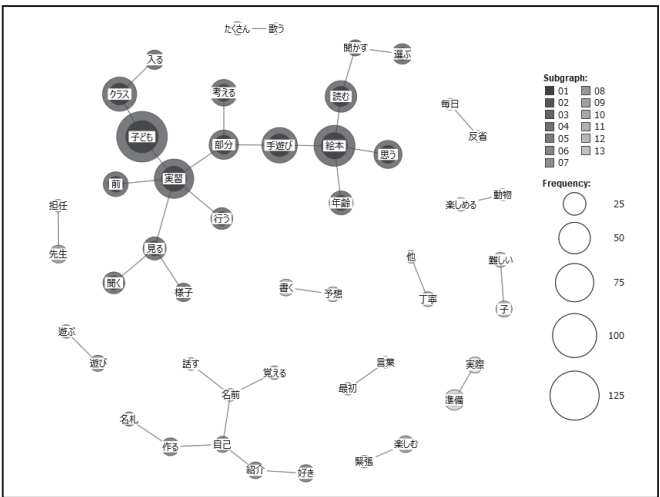
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
子ども	162	男児	12	行う	7
遊び	106	逃げる	12	出る	7
遊ぶ	90	入れる	12	人	7
作る	69	実習	11	川	7
思う	63	水	11	多い	7
楽しい	54	繰り返す	10	男の子	7
一緒	49	声	10	途中	7
言う	41	庭	10	面白い物	7
感じる	39	転がす	10	分かる	7
クラス	35	タッチ	9	変わる	7
楽しむ	31	園	9	本気	7
山	30	考える	9	様々	7
見る	26	最初	9	たくさん	6
入る	26	自由	9	トンネル	6
子	24	水	9	ルール	6
自分	21	走る	9	家	6
保育	20	登る	9	回す	6
様子	20	同士	9	滑り台	6
ブロック	19	ボール	8	形	6
使う	19	壊す	8	見つける	6
先生	19	気持ち	8	行く	6
魅力	19	共有	8	歳	6
砂	18	型	8	三輪車	6
女の子	18	手	8	始まる	6
A	17	周り	8	時間	6
姿	14	女兒	8	大切	6
友達	13	真似	8	展開	6
理解	13	他	8	難しい	6
鬼	12	お母さん	7	発想	6
砂場	12	外	7	壁	6
参加	12	嬉しい	7	遊び方	6
持つ	12	鬼ごっこ	7		
出来る	12	見立てる	7		



▲図7. 「遊びの理解」の共起ネットワーク

▼表10. 頻出語 (関わる準備と実践)

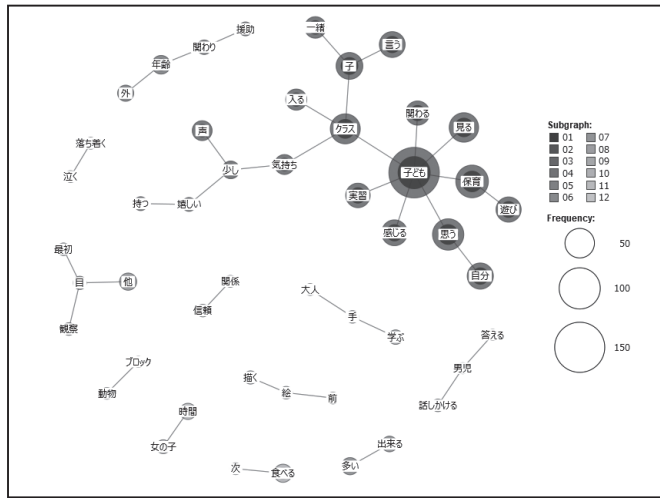
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
子ども	133	次	13	薄入	8
絵本	86	書く	13	遊ぶ	8
実習	79	紹介	13	読む	8
手遊び	64	用意	13	緊張	7
クラス	59	子	12	行く	7
読む	50	自己	12	最初	7
部分	43	実際	12	他	7
思う	39	聞かず	12	担任	7
考える	35	遊び	12	名前	7
関わる	32	一緒	10	理解	7
前	30	合わせる	10	話す	7
年齢	28	歳	10	違う	6
見る	26	持つ	10	家	6
保育	24	時間	10	歌う	6
行う	23	丁寧	10	確認	6
聞く	23	難しい	10	言葉	6
声	21	予想	10	姿	6
出来る	20	楽しい	9	少し	6
準備	20	実践	9	調べる	6
遊ぶ	20	多い	9	伝える	6
言う	18	発達	9	動物	6
入る	18	反応	9	内容	6
感じる	17	名札	9	反省	6
事前	17	たくさん	8	変える	6
様子	16	意識	8	毎日	6
作る	15	援助	8	良い	6
自分	15	覚える	8		
先生	15	楽しめる	8		
練習	15	興味	8		
好き	14	繋げる	8		
楽しむ	13	紙芝居	8		



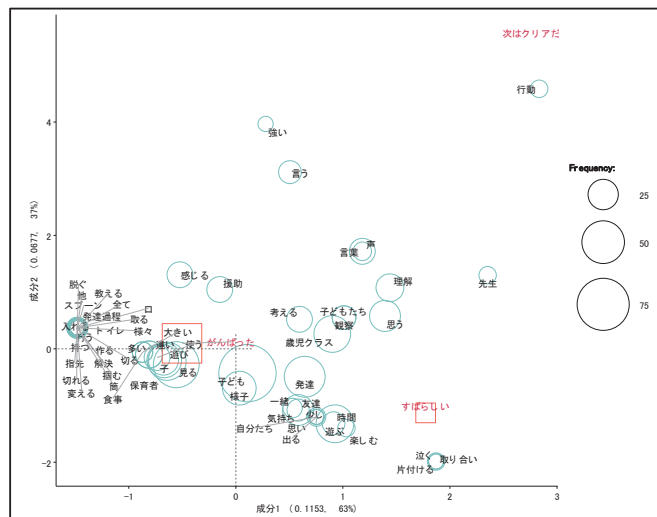
▲図8. 「関わる準備と実践」の共起ネットワーク

▼表11. 頻出語 (関わる魅力の発見)

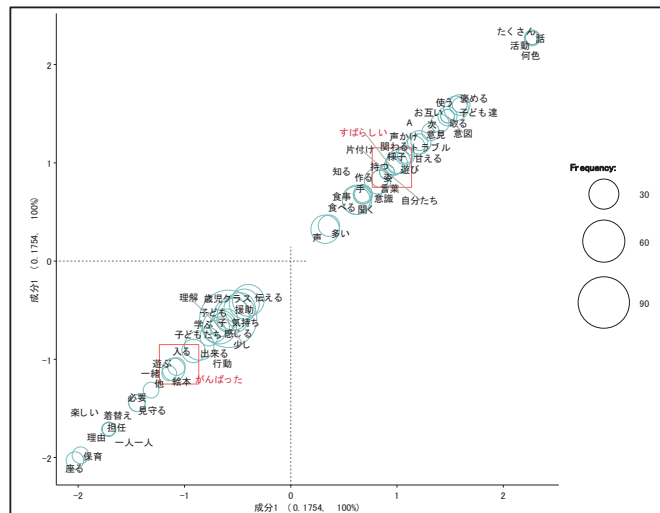
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
子ども	153	様子	14	関係	7
保育	62	楽しい	13	泣く	7
思う	57	気づく	13	近く	7
クラス	52	歳	13	考え	7
見る	50	出来る	13	今	7
子	41	行く	12	今日	7
自分	39	学ぶ	11	次	7
感じる	38	関わり	11	前	7
言う	38	A	10	大人	7
遊び	36	B	10	動物	7
実習	34	オムツ	10	難しい	7
関わる	33	援助	10	落ち着く	7
遊ぶ	33	嬉しい	10	R	6
一緒に	26	考える	10	お母さん	6
入る	25	持つ	10	ブロック	6
気持ち	22	女の子	10	ルール	6
声	22	教える	9	気	6
年齢	19	成長	9	鬼	6
言葉	18	描く	9	見せる	6
食べる	18	目	9	見守る	6
大切	18	来る	9	行う	6
少し	17	絵	8	合わせる	6
先生	17	観察	8	手遊び	6
他	16	最初	8	初めて	6
多い	16	手	8	笑顔	6
姿	15	信頼	8	心	6
聞く	15	人見知り	8	男の子	6
外	14	着替え	8	男児	6
作る	14	伝える	8	答える	6
時間	14	発見	8	理解	6
出る	14	話しかける	8		
人	14	話す	8		



▲図9. 「関わる魅力の発見」の共起ネットワーク



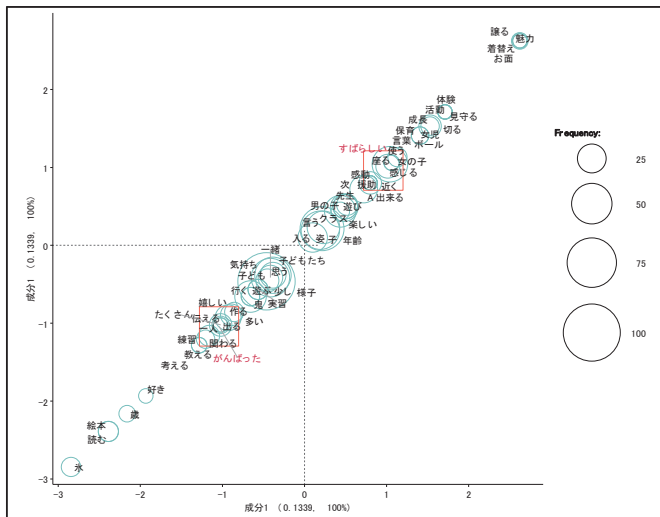
▲図10. 発達理解 (自己評価)



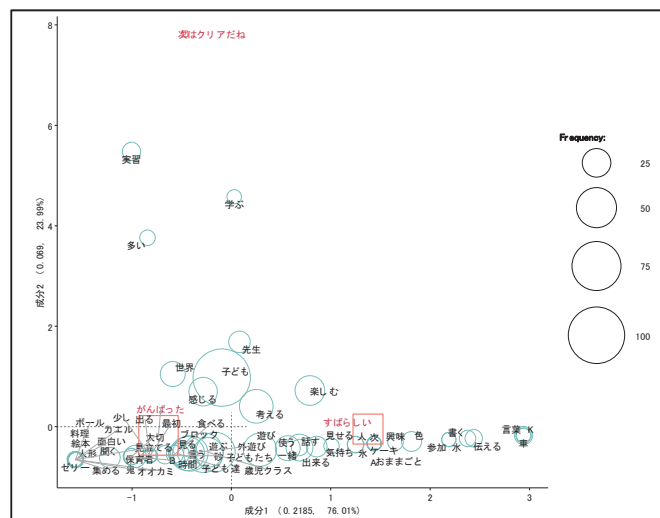
▲図11. 援助理解 (自己評価)



▲図12. 子育て支援の理解 (自己評価)

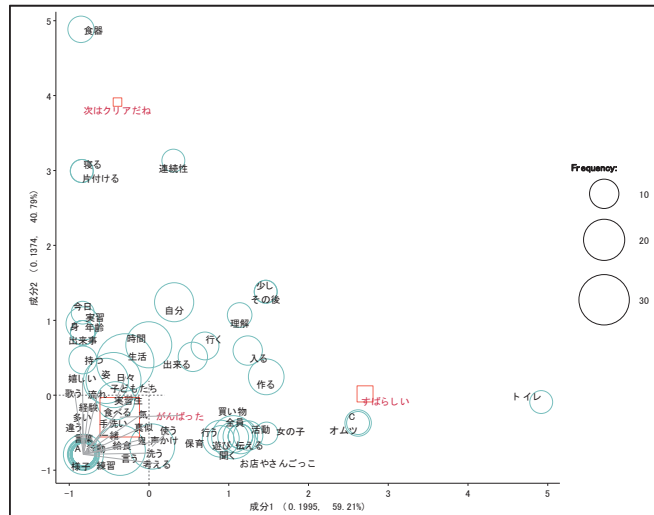


▲図13. 子どもへの関心 (自己評価)

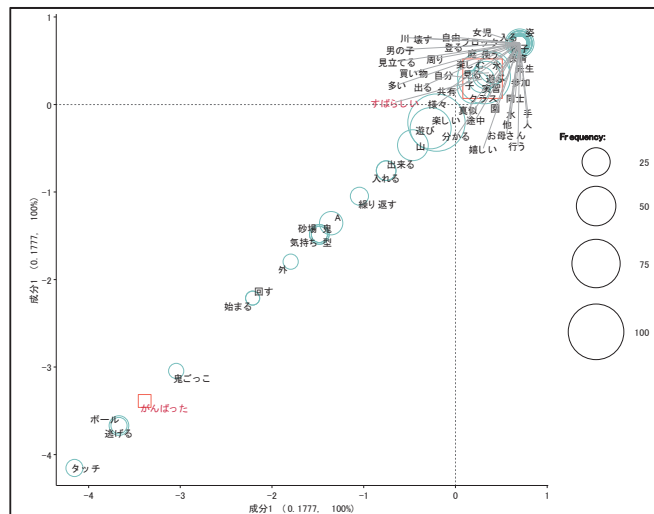


▲図14. 子どもの世界の尊重 (自己評価)

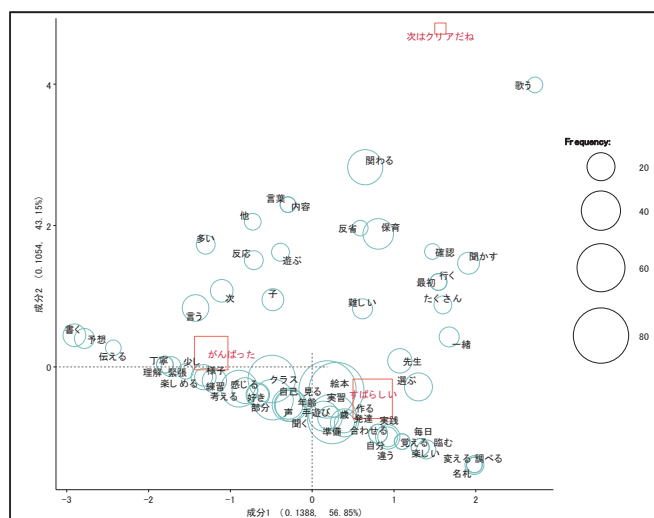




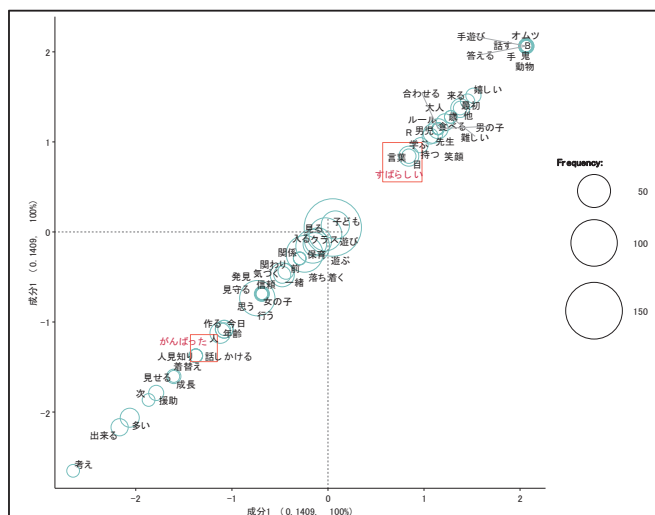
▲図15. 生活の連続性 (自己評価)



▲図16. 遊びの理解 (自己評価)



▲図17. 関わる準備と実践 (自己評価)



▲図18. 関わる魅力の発見（自己評価）

表12. 自己評価（人数）

n=75

自己評価	A	B	C	D	E	F	G	H	I
素晴らしい	13	35	10	36	24	10	67	44	47
がんばった	60	40	60	39	50	63	8	28	28
次はクリアだね	2	0	5	0	1	2	0	3	0

#### 4. まとめ

以上みてきたように、項目ごとの学びの特徴やキーワードを明らかにすることができた。また自己評価との関連で、学びを促進するにはどのような点がポイントとなるかを俯瞰することができた。これらの結果を今後は実習の事前学習や学生指導につなげていくことが大切であろう。今回の分析では、実習での学びを可視化することを試みたが、今後、さらに継続してデータを積み重ねていく必要がある。

#### 参考文献

- ・牛澤賢二 (2018), 「やってみよう テキストマイニング」, 朝倉書店
- ・大瀧ミドリ・高橋裕子・吉澤千夏・今村聡美 (2010), 「テキストマイニングによる教育実習体験の分析」, 東京家政大学研究紀要, 第50集 (1), pp.63～70
- ・尾崎司 (2019a), 「現場連携による実習評価ループリックの開発 (II) ～ループリックを活用した事後学習の授業研究」, 東京家政大学研究紀要, 第59集 (1), pp.13～21
- ・尾崎司編著 (2019b), 「教育・保育実習のデザイン」, 第2版, 萌文書林
- ・樋口耕一 (2004), 「テキスト型データの計量的分析 —2つのアプローチの峻別と統合—」『理論と方法』(数理社会学会) 19 (1), pp.101-115
- ・樋口耕一 (2014), 「社会調査のための計量テキスト分析 —内容分析の継承と発展を目指して—」ナカニシヤ出版